

## 「12項目の政策」で議会を変える！

横浜市会議員 こがゆ康弘

東日本大震災で被災された多くの方が地震発生から20日を経過した今も、厳しい避難生活を余儀なくされています。燃料や食料など必要な物資が被災地に届けられるよう、私たち一人ひとりが協力し合って、

一日も早い復興に向けて、出来る限りの支援をしていきたいと考えています。4年前、私「こがゆ康弘」は、平成22年度までに実現に向けて取り組む12項目の具体的政策（マニフェスト）を市民の皆様に表示しまし



## こがゆ康弘プロフィール

鶴見区生まれ 43歳 / 早稲田大学大学院修了。民間企業勤務を経て横浜市会議員を志す。現在2期目。民主党横浜市議員団所属。水道・交通委員会委員長などを歴任。二俣川在住。

☎045-366-9381 (事務所)  
http://www.kogayu.net/

た。これまで毎年その成果を検証し、自己評価を公表してきました。最終評価は計画通り達成が6項目、一部達成が4項目、提言するも実現しないものが2項目でした（詳細はホームページにて）。地域の課題を解決するためには、抽象的な政策のみでは何も変わりません。私はこれから何を指し何を実現するのか明確にし、情報公開と説明責任として評価と検証を行い、区民ニーズに応えるとともに議会のあり方も変えていきたいと考えています。

## こがゆ康弘が平成26年度までに取り組む具体的な政策

## 少子・高齢化、子育てニーズへの適切な対応

- ◆ 旭区内の保育所待機児童数をゼロに（現状：待機児童数 157人…H22.10月）
- ◆ 在宅介護を支える「小規模多機能型介護施設」を区内5カ所に整備（現状：2カ所）
- ◆ ひとり暮らし高齢者世帯の見守り活動地区を区内5カ所に拡大（現状：1カ所）
- ◆ 産科拠点病院の整備と事業所内保育施設の設置で切れ目のない子育て支援を実現

## 市民の安全・安心の確保と環境都市への取り組み

- ◆ 地域レベルでの防犯・防災活動の推進とLED街灯を区内3000カ所に設置（現状：1150カ所）
- ◆ 狭あい道路の区内10kmの拡幅整備（前4年間の整備実績：6.27km）
- ◆ 駅周辺の喫煙対策の強化と帷子川の美化活動の推進（4カ所の魚道を整備）
- ◆ 公用車への電気自動車の導入（2台）と充電スタンドを区内10カ所に設置

## 活力あふれるまちづくり・議会改革の推進

- ◆ コミュニティバスなど地域ニーズに対応した乗合交通サービスを区内2カ所で運行
- ◆ 旭区と東京方面を結ぶ「神奈川東部方面線」の計画的整備と横浜環状鉄道の検討促進
- ◆ 二俣川駅南口の再開発と鴨居上飯田線（都市計画道路）の同時整備で地域経済の活性化
- ◆ 地方議員年金の廃止と議会のあり方（報酬・行政視察など）の検討で議会改革を断行